

ク
ロ
ー
ア
ア
シ
ッ
プ

この人

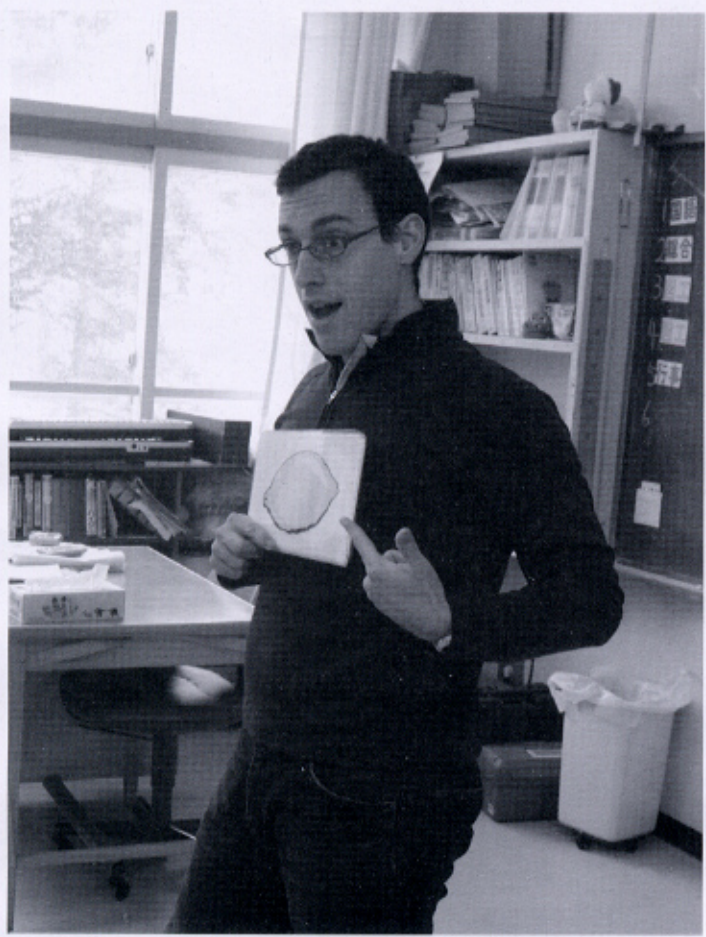
「ゲームで英語を

楽しく伝えたい」

紋別市教育委員会

外国語指導助手(ALT)

マーク・デイビスさん



「子

どもたちは面白くてやさしい子が多いですね」―8月から外国語指導助手(ALT)として市内の小学校で英語を教えているマーク・デイビスさんは、子ども達と授業で接した3カ月を振り返ります。カナダ・オンタリオ州にある人口約70万人のハミルトン市の出身。「マチの郊外に住んでいたので、紋別に来たときは地元を思い出しました。僕としては、日本語がもっと上手になりたいですね」と新天地で希望を膨らませています。

デイビスさんが初めて日本を訪れたのは、大学1年生の時。日本の文化、特に料理に興味があつて東京や京都、名古屋を2週間ほど旅行しました。大学3年生になると、福岡県の大学に10カ月間留学、日本の歴史や文化、芸術などを学びました。卒業後は「福岡以外の場所も見てみたかった」と、ALTとして来紋しました。紋別の印象は「とっても海が近い。季節の移り変わりも出身地と変わらなくて住みやすい」と笑顔で語ります。ALTとしての授業では、子ども達が英語に親しみやすいように様々なゲームを用意し臨んでいます。

みんな、座つての勉強は好きじゃないので、動きをつけたゲームだったら生徒も楽しめると思うので、フルーツや野菜のイラストを使ったクイズや椅子とりゲームなど工夫を凝らしています。

趣味は料理と音楽、スポーツではスノーボードもたしなみます。特に料理は、トンカツからパスタ、魚料理まで幅広くチャレンジし、同じALTのステイブン・マコーネルさんにも料理を振舞うほどの腕前。また、10月からは地元の若者で作るバンドに加入し、すでにライブにも2回ほど出演。カナダにいたころはドラマーとして活躍したデイビスさんのバンドでの担当はボーカル。デイビスさんは「バンド活動は本当に楽しいです」と紋別ライブも満喫しています。

さらに、今年の冬は大山スキー場でのスノーボードも楽しみにしているそうです。

デイビスさんは「これからも学校の先生方といろいろなアイデアを出し合い協力して、楽しく英語を伝えていきたい」と語ってくれました。